

政策パッケージ評価シート

【政策担当者】 総合政策部次長

2. ひとへの投資プラン (3)ふるさとづくりの促進 — 基本施策①

【パッケージの方向性】

人や地域の支えあう気持ちを育み、特色あるふるさとづくりを進めるとともに、地域外との連携や応援の受け入れに取り組みます。移住促進のための情報一元化、わかりやすい発信に取り組みます。

基本施策

① 特色あるふるさとづくり

【KPI(重要業績評価指標)】	基準値(R1)	R3実績	R4目標	R7計画目標
社会動態	▲712人 (5年間累計)	▲253人 (5年間累計)	▲135人 (5年間累計)	0人
ふるさと納税返礼品数	347件	560件	580件	467件
市ホームページ 移住定住サイト閲覧数	17,000回	15,656回	20,000回	23,000回

【これまでの取組と効果】

移住定住を進めるため、地域おこし協力隊と連携し、移住者の目線による移住定住動画を作成することにより、移住者に対して分かりやすい発信を行いました。また、地域おこし協力隊による地域連携が進んでいることから、市内外への情報発信が行われつつあります。国の制度を活用し、東京圏からの移住者に対しては引っ越し費用の補助制度の活用を推進しています。地域の魅力発信を強化するための取組として、外部の専門家を招へいし、新たな資金獲得手法であるクラウドファンディングをきっかけに市民活動プロジェクトの立ち上げやイベント開催に貢献され、特色あるふるさとづくりに寄与しました。ふるさと納税では、市の特産品の紹介や魅力を全国に発信することができ本市を知るきっかけづくりとして積極的に進めています。

【課題】

コロナ禍前では、本市の社会動態（転入者と転出者の差）は見た目上は改善の傾向にありましたが、日本人は毎年100人を超える人口流出や、近年の外国人転入が横ばいとなり転入超過が大幅なマイナスとなりました。移住定住促進のため、新鮮な情報を継続的に発信することなどイベント開催を強化していく必要があります。ふるさと納税は、前年度寄附額の1.3倍程度で推移したものの、コロナ禍の巣ごもり需要で全国的に寄附額が増えていることを考慮すると、まだまだ増加幅が小さいため今後も市の魅力をPRするためにさまざまな返礼品の発掘を行う必要があります。

【今後の施策展開】

市のPRの主体となるホームページについては、全ての人にとっての使いやすさを目指し、新鮮な情報を提供できるよう更新に努めるとともに、新しい機能を取り入れながら時代に合ったホームページをつくります。また、外部の専門家を活用し、市民活動を継続的に支援するとともに、効果的なイベント開催を行います。ふるさと納税制度を活用し本市の魅力をさらに発信するために、ECサイトの追加構築や現在の返礼品の魅力の見せ方をバージョンアップするとともに、伝統文化を体験できる返礼品などのラインナップを増やし、本市を知るきっかけづくりとなる取組を進め、移住定住を促進します。

総括「パッケージ（基本施策）」

地方創生活関連国庫補助金活用事業	(1)クラウドファンド等支援事業（執行額:592千円）			
	【KPI(重要業績評価指標)】		R3実績	R4目標
	クラウドファンディングを通じた地域活動への参加者数		167人	200人
	【事業概要・効果(寄与状況)】			
	<p>新たな資金獲得手法であるクラウドファンディングを活用し、「市」、「地域プロデューサー」、「サイト運営会社」との協働により、活動主体の掘り起こしからファンドの立ち上げ、プロジェクトのPRに至るまで市民活動プロジェクトに対する支援を行います。また、地域プロデューサーはクラウドファンディングの立ち上げ支援にとどまらず、効果的なプロモーションを行うためのアドバイザーとしての役割も担っています。</p>			
	【令和3年度ファンド事業】			
	<p>①着物メイク服で元気を届けたいプロジェクト 目標額 300,000円 達成額 312,800円 支援者数 25人</p>			
	<p>②コロナに負けたくない！チャレンジワーカーでオリジナル商品を作りたいプロジェクト 目標額 300,000円 達成額 155,500円 支援者数 45人</p>			
	<p>③湖南省の伝統野菜「朝国しょうが」を復活させ、後世に引き継ぎたいプロジェクト 目標額 200,000円 達成額 413,000円 支援者数 62人</p>			
	<p>④チャンネル2022「フログ」今世紀最大の和年ニャーニャー年と一緒に祝いたいプロジェクト 目標額 300,000円 達成額 437,742円 支援者数 35人</p>			
【事業の改善点】				
<p>地域プロデューサーが担っている役割を、当初からの目的であった職員が主体となって地域資源の掘り起こしからプロデューサーやファンドの立ち上げ支援の手法を学び、実践していくことが必要であり、担当職員だけでなく関係する職員が地域プロデューサーと関わり、プロジェクトが一過性で終わらないような取組が必要です。</p>				
【今後の施策展開】				
<p>市民活動応援プロジェクトであるクラウドファンディング事業は、コロナ禍ではあるものの市民活動や社会貢献活動が活発化しています。引き続き、地域の悩み事に耳を傾け活動のサポートを積極的に行うとともに、職員が地域プロデューサーの手法を吸収し、職員主体でさまざまな市民活動の提案をできるよう拡充していきます。</p>				

(1)ふるさときらめき湖南づくり寄付事業（執行額:93,891千円）		
【KPI(重要業績評価指標)】	R3実績	R4目標
寄付額	1.64億円	3億円
【事業概要・効果(寄与状況)】		
<p>寄附者の地域を応援したいという思いを生かしながら、特産品の紹介や地域の魅力を全国に発信しています。</p> <p>【ふるさと納税ポータルサイト別寄附額（件数）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さとふる 51,415千円（2,117件） ・高島屋 32,050千円（607件） ・楽天 27,515千円（1,315件） ・ふるさとチョイス 26,432千円（1,007件） ・その他（特設サイト、ANA、auPAY、カシマFAX、ふるさと納税ニッポン!、ゼノン、ふるなび） 26,862千円（838件） 		
【事業の改善点】		
<p>湖南省の魅力を発信していくために、多数の特産品を取りそろえることや効果的なPRの手法を検討する必要があります。</p>		
【今後の施策展開】		
<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、国民の生活様式や感染症に対する意識に変化が生じている中で、これまで以上に社会ニーズに対する柔軟な対応が求められています。また、ICTの発展により広告媒体が多様化したことにより、専門的な視点が必要となっていることから、ウイズコロナ時代を見据えた効果的なプロモーションに取り組みます。</p>		
(2)移住定住促進事業（執行額:2,170千円）		
【KPI(重要業績評価指標)】	R3実績	R4目標
【事業概要・効果(寄与状況)】		
<p>地域のキーマンや移住者（地域おこし協力隊など）の視点による市のイメージや暮らしの情報を盛り込んだ移住定住促進動画を制作し湖南省YouTube公式チャンネルに投稿しています。</p> <p>また結婚新生活支援事業費補助金により移住者を呼び込むことで、人口減少の抑制を図っています。</p>		
【事業の改善点】		
<p>結婚新生活支援事業費補助金は、転入時に制度を知る方も多く、結婚して要件に合致しているから申請するという形となってしまっていることから、結婚を機に本市へ移住すると思ってもらえるような制度に変更していく必要があります。</p>		
【今後の施策展開】		
<p>結婚新生活支援事業費補助金をより定住に結び付ける制度にするため、令和4年度から親と同居や同一敷地の場合は補助を増額する仕組みを構築します。</p>		

(1)地域経済活性化事業（執行額:9,999千円）		
【KPI(重要業績評価指標)】	R3実績	R4目標
【事業概要・効果(寄与状況)】		
<p>ふるさと納税等に関するウェブサイトを構築することにより、ウイズコロナ時代を見据えた市内事業者の販路拡大やプロモーションの支援を行う。</p>		
【事業の改善点】		
<p>市の特設サイトを作り、独自のふるさと納税返礼品をPRすることができたものの寄附実績は少なく、関係者による寄附が多かったため、市外へもっとPRできるように取組を行う必要があります。また、外部ポータル制度が寄附者のポータルサイト決定に大きく影響しているため、注視する必要があります。</p>		
【今後の施策展開】		
<p>湖南省独自の魅力的な返礼品を掲げるほか、インスタなどSNSを積極的かつ継続的に情報発信するなど、これまでの情報発信の方法を抜本的に変える必要があります。また、毎年度において基準として約1億5千万円程度の寄附をいただいております。寄附者の状況をしっかりと分析することで、ターゲットに対する対策や本市に「ゆかり」のある人への対策など、寄附者の状況に応じた取組を進めます。</p>		
(2)地域事業者名産品魅力発信事業（執行額:960千円）		
【KPI(重要業績評価指標)】	R3実績	R4目標
【事業概要・効果(寄与状況)】		
<p>ふるさと納税返礼品に関わる事業者において、ウイズコロナ時代を見据えた市内事業者の販路拡大や地域内の特産品をPRすることを目的に、市が事業者から返礼品を購入しPRに活用することで、地域を支える関係人口の創出に取り組めます。</p>		
【事業の改善点】		
<p>ウイズキャンペーンを実施し、当選者にふるさと納税に関する本市特産品をPRすることができました。また、このウイズの回答に必要なヒントを確認するため、「湖南省鉄拳コネクト動画」を視聴しないと答えが分からない仕組みとしたことにより、「湖南省公式youtubeチャンネル」での再生回数25,000回を達成し、シティプロモーションや移住定住施策の一助となりました。しかしながら、ふるさと納税の寄附に直接的な繋がりがあったかどうかについては、しっかりと分析を行う必要があります。</p>		
【今後の施策展開】		
<p>引き続き、シティプロモーションや移住定住施策に取り組めます。</p>		

政策パッケージ評価シート

【政策担当者】 総合政策部次長

3. まちづくりプラン (6) 持続可能なまちづくり — 基本施策①②

総括【パッケージ（基本施策）】	【パッケージの方向性】					
	エネルギーや資源の域内循環システムを確立し、新たな価値を創出しながら経済の規模を拡大します。市民との協働のまちづくりをより一層進めるとともに公有財産の有効活用、維持管理の効率化を図ります。					
	基本施策					
	①市民主体のまちづくりの推進 ②若者の社会参画					
	【KPI(重要業績評価指標)】		基準値(R1)	R3実績	R4目標	R7計画目標
	地域まちづくり協議会が主体となる協働事業の参加者数		28,493人	14,446人	25,000人	40,000人
	地域まちづくり協議会の若者人材育成研修会数		—	0回	1回	21回
	【これまでの取組と効果】					
	市民主体によるまちづくりとして、地域活性化推進事業については、地域まちづくり協議会が主体となって地域イベントや観光事業などを実施されてきましたが、令和2年度はコロナ禍において事業自粛となりました。 また人生100年時代を豊かに過ごすために、食とスポーツをテーマとしたイベントを団体・企業・農業・福祉など多様な主体とともに地方創生推進交付金を活用し、3ヶ年計画で実施する予定でしたがコロナで中止となりました。 東寺献上ごぼうに続き、市民共創による「朝国しょうが復刻プロジェクト」の取組が進展し、多くのメディアで取り上げられたことによるシティブレモンや健康野菜への市民周知に寄与しました。					
【課題】						
まちづくり協議会活動については、引き続き持続可能な組織を構築するため、人材の発掘や育成のほか、まち協と区の連携強化のための組織見直しが必要です。また、新たなまちづくりの担い手となる若者が中学、高校の早い段階からまちづくりについて考える仕組みづくりが必要です。 市民共創による特産品等の新たな発掘については、行政が主体的に行うのではなく、市民自らが主体的に発掘に関わり、地域や関係者と共創しながら最終的に自走していく仕組みを創ることが必要となります。						
【今後の施策展開】						
地域協働のまちづくりにおいては、地域防災や地域福祉をはじめとする地域での支え合いの仕組みと、小規模多機能自治を進める上での「行政と地域、民間事業者」がそれぞれサービスの提供事業者として役割を担う仕組みを構築します。 また、まちづくりに関心のある若者が継続的にまちづくりへ参画できる仕組みを構築することで、担い手育成や本市への愛着を醸成します。						

地方創生関連国庫補助金活用事業	(1) (仮称)若者まちづくり課プロジェクト創生事業 (執行額:3,499千円)		
	【KPI(重要業績評価指標)】	R3実績	R4目標
	【事業概要・効果(寄与状況)】		
	若者主体のまちづくりに実績のあるNPO法人と連携し、市民協働による(仮称)湖南省若者まちづくり課を創設し、SDGsの視点からまちづくりを推進します。またSDGsの視点に基づく「まちづくり」をテーマに、大学連携による専門的な知見の活用や、地域が主体となってSDGsの活動を行うため、ロールモデルとなる市民の育成に取り組みます。		
	【事業の改善点】		
	初年度の令和3年度はコロナ禍での開催となり、十分にフィールドワーク等ができず、また政策立案に対する支援や伴走も実施できなかったことから、課題の明確化から政策立案までのプロセスなどお進められない状況となり、今後はしっかりと支援することが必要です。また、「こなんSDGsカレッジ」のメンター育成についても、育成に向けたセミナー等が実施できておらず、3年後の自走に向けてメンター育成プログラムを構築することが必要です。		
	【今後の施策展開】		
	こなんSDGsカレッジにおけるセミナーについては、ロールモデル事業を効果的に進めるため、メンターの育成を重点的にセミナーとして実施し、さらにサマーキャンプを実施することで、集中的に参加者が地域アクターと繋がる機会を増やします。また、同志社大学政策学部との連携事業については、政策形成に詳しい職員等が課題の明確化や分析等の重要な部分で指導等を行うことにより、より整理された提案が立案できるよう進めます。		
	(2) サブカルチャー活用事業 (執行額:1,500千円)		
【KPI(重要業績評価指標)】	R3実績	R4目標	
【事業概要・効果(寄与状況)】			
若者を取り込むためにサブカルチャーを活用した市民への情報発信のため、イラスト動画の制作を行います。			
【事業の改善点】			
ふるさと納税に関する湖南省特産品をPRするためクイズキャンペーンを実施し、このクイズの回答に必要なヒントを確認するため湖南省鉄拳コラボイラスト動画を見てもらいました。結果、湖南省公式youtubeチャンネルでの再生回数25,000回を達成し、地元に対する愛着を思い起こし、Uターンを考えている人に働きかけることができました。			
【今後の施策展開】			
湖南省鉄拳コラボイラスト動画第二弾を作成し、youtubeで公開するとともに、小学校の教育現場でも活用することで小さいうちから地元への愛着を醸成していきます。			

地方創生関連国庫補助金活用事業	(3)ヘルシーフードの開発事業 (執行額:393千円)		
	【KPI(重要業績評価指標)】	R3実績	R4目標
	【事業概要・効果(寄与状況)】		
	地域の特産品を活用し、市民向けの健康食を開発する。		
主な総合戦略推進事業	【事業の改善点】		
	湖南省の特産品として、朝国しょうが復刻プロジェクトはNHK、びわこ放送や各新聞社などたくさんのメディアに取り上げられ市内外に認知されましたが、活用方法がお漬物のみであったため、今後はしょうがの収穫期に合わせたその他商品の開発を行い、より身近な特産品にしていく必要があります。		
	【今後の施策展開】		
	しょうがの可食部分の商品開発とともに廃棄していたしょうが葉部分をゆららなど温泉施設で活用できないかなど、様々な活用方法を模索し、地域が取り組む朝国しょうがが湖南省の特産品であると認知してもらえるよう努める。		
主な総合戦略推進事業	(1)地域活性化推進事業交付金 (執行額:1,484千円)		
	【KPI(重要業績評価指標)】	R3実績	R4目標
	本制度を活用した地域まちづくり協議会の事業への参加者数	1,416人	—
	【事業概要・効果(寄与状況)】		
	各地域まちづくり協議会が交付金を活用し、子育てサロンやちょこっとカフェなどの居場所づくり、地域市民の防災意識を高めるための事業を実施されました。また、東海道宿場町の特性を生かし観光や歴史継承に繋がる統一看板を設置されました。		
主な総合戦略推進事業	【事業の改善点】		
	各地域まちづくり協議会が自主的に実施される事業であるが、実際に地域(各区・自治会)からのニーズにあった事業となっているか検討がなされていない事業もありました。		
	【今後の施策展開】		
国の地方創生推進交付金事業「地域活性化先進モデル事業」から引き続き、各地域が取り組むための交付金として、一定期間が経過したため交付金を廃止することとしますが、今後も区が基幹組織となる地域まちづくり協議会の活動がニーズにあったものとなるような支援を行います。			

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

(1)まちづくりセンター等感染対策事業（執行額:18,689千円）		
【 KPI(重要業績評価指標) 】	R3実績	R4目標
【 事業概要・効果(寄与状況) 】		
<p>不特定多数の人が集うまちづくりセンターは、地区連絡所にも指定されていることから、換気を目的とした空調や換気扇、排煙窓の整備および飛沫防止のためのトイレ改修を行い、感染症対策強化を図ります。</p>		
【 事業の改善点 】		
【 今後の施策展開 】		
<p>全まちづくりセンターの感染症対策が完了していないので、引き続き新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施していきます。</p>		
(2)情報発信機能強化事業（執行額:1,672千円）		
【 KPI(重要業績評価指標) 】	R3実績	R4目標
【 事業概要・効果(寄与状況) 】		
<p>湖南省LINE公式アカウントの機能を拡張し、新型コロナウイルス感染症に特化した情報発信がコリを作ることにより、情報発信の強化を図ります。</p>		
【 事業の改善点 】		
<p>下部に設置した新型コロナウイルス感染症のタイトルから直接ホームページに移動できることにより、情報は探しやすくなったが、ホームページ自体の改修がなされていないことによって、知りたい情報が手に入らないこともあるため、チェックをかけることが必要です。</p>		
【 今後の施策展開 】		
<p>加入者を増やすとともに情報の整理を行います。また、LINEの便利な使い方について情報発信を行います。</p>		

政策パッケージ評価シート

【政策担当者】 総合政策部次長

3. まちづくりプラン (7)安心して暮らせる基盤づくり — 基本施策⑧

【パッケージの方向性】

多世代交流の場づくりや新しい働き方の確立等、誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会の実現を図ります。災害に強い都市基盤整備とともに地域ぐるみの防災体制の強化や見守り・目配りの仕組みなど安心・安全な地域社会づくりを進めます。また、鉄道とバスの連携など子どもや高齢者の移動を支える交通ネットワークの充実を進めます。

基本施策

⑧ スポーツの振興

【KPI(重要業績評価指標)】	基準値(R1)	R3実績	R4目標	R7計画目標

【これまでの取組みと成果】

「スポーツ基本法」が平成23年8月に施行され、スポーツに関する基本理念「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことはすべての人々の権利」が示され、その実現に向けた「スポーツ基本計画」が策定されました。市においても、この趣旨を踏まえスポーツ推進施策を体系的・計画的に推進することが求められ、市の目指すスポーツ施策の基本理念、方向性を明らかにし、その実現に向けた施策を優先的かつ計画的に進めていくために、平成26年に「湖南省市スポーツ推進計画」を策定しました。

令和元年度には見直しを行い、「第2期湖南省市スポーツ推進計画」を策定しています。「ずっとここに暮らしたい！スポーツでつながりきらめき湖南」の実現に向けて「基本的目標（自立と協働を通じて、いつでも、どこでも、だれでもスポーツを楽しみ、いきいきと健康で豊かな未来を創る）」を目標に施策を推進しています。

【課題】

市のスポーツ推進で目指す未来像の実現には、地域やスポーツ団体等と市のめざすスポーツ施策の理念を共有し、協働を推進することが不可欠となっています。市としては協力・分担体制のもと、指定管理者や補助団体とのさらなる連携の強化を図っていくことが重要な課題となっています。

【今後の施策展開】

スポーツ推進計画の理念を周知するとともに、5年後の計画見直しに向け、各スポーツ団体の活動状況のヒアリングを実施します。また、スポーツ推進審議会を開催し、各方面からの意見を踏まえた上で、またウイズコロナ時代に新しい生活様式を實踐し、安心・安全にスポーツを実施していただけるよう、今後の計画・施策の方向性を定義していきます。

総括（パッケージ（基本施策））

政策パッケージ評価シート

【政策担当者】 総合政策部次長

3. まちづくりプラン (7)安心して暮らせる基盤づくり — 基本施策⑩

【パッケージの方向性】

多世代交流の場づくりや新しい働き方の確立等、誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会の実現を図ります。災害に強い都市基盤整備とともに地域ぐるみの防災体制の強化や見守り・目配りの仕組みなど安心・安全な地域社会づくりを進めます。また、鉄道とバスの連携など子どもや高齢者の移動を支える交通ネットワークの充実を進めます。

基本施策

⑩ 広域連携の推進

【KPI(重要業績評価指標)】	基準値(R1)	R3実績	R4目標	R7計画目標

【これまでの取組みと成果】

本市では、合併前の旧町時代から旧甲賀郡7町で構成していた甲賀郡行政組合を合併後は「甲賀広域行政組合」とし、「公立甲賀病院組合」とともに湖南市と甲賀市の広域組合として管理しています。また、近隣市町との道路や河川、線路、ネットワークに関する広域での協議会や同盟会として「地域高規格道路甲賀湖南道路整備促進協議会」や「野洲川河川改修促進協議会」、「草津線複線化促進期成同盟会」、「おうみ自治体クラブ協議会」など、関連市町と共同により、それぞれの目的を達成するための活動に取り組んでいます。さらに、市町が持つ共通の課題2対して隣接する市町が広域で連携することで、サービスの向上が図れることを目的として、「野洲・湖南・竜王総合調整協議会」、「栗東・湖南広域行政協議会」、「甲賀市・湖南市広域行政協議会」を設立し、広域連携によるサービスの調査・検討に取り組んでいます。

【課題】

道路や河川、線路などの課題については、目的を達成するためには時間を要することとなっていますが、関係する市町が一体となって要望活動等を継続して行っていくことが重要となっています。また、甲賀市とのれ広域連携については、独立行政法人となった公立甲賀病院の経営について、また、甲賀広域行政組合が所管する消防やごみ処理のあり方等、また組合そのもののあり方についても検討を進める必要があります。

【今後の施策展開】

広域連携の仕組みは、一つの市町では効果が出ないサービスや、採算の採れないサービスなどに対して、広域で取り組むことにより、新たなサービスが展開できるなど効率的で効果的なサービスが行えるよう引き続き検討を進めていきます。また、要望活動についても広域により、継続して要望活動に取り組めます。

総括（パッケージ（基本施策））

政策パッケージ評価シート

【政策担当者】 危機管理局管理監

3. まちづくりプラン (7)安心して暮らせる基盤づくり — 基本施策⑨

総括（パッケージ（基本施策））	【パッケージの方向性】				
	災害に強い都市基盤整備とともに地域ぐるみの防災体制の強化や見守り・目配りのしくみなど安心・安全な地域社会づくりを進めます。鉄道とバスの連携など子どもや高齢者の移動を支える交通ネットワークの充実を進めます。				
	基本施策				
	⑨危機管理体制の整備				
	【KPI(重要業績評価指標)】	基準値(R1)	R3実績	R4目標	R7計画目標
	各区の防災計画の策定状況	21区	21件	27区	43区
	【これまでの取組と効果】				
	平成26年度以降、市内各区に対して地区防災計画の策定を啓発しており、令和元年度末までに計21区で計画が策定され、災害の発生に備えるとともに、市総合防災訓練、地域の避難訓練等において避難者の誘導等に役立っています。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、会合等が出来ず新規の作成は0件でした。今後も継続して計画作成のための支援を行います。 平成24年度から行っている防災士育成事業では、約280名の防災士を育成しました。また、防災士が結成した湖南省防災士連絡会と連携し、地域防災力の向上に努めています。				
	【課題】				
地区防災計画については、新型コロナウイルス感染症の影響により、必要な会合等を行うことができず、計画の作成ができなかったこと、また、地域により計画策定の必要性・重要性に対する認識や、防災力向上の取組に温度差があると考えられます。 また、今後高い確率で発生が予想される南海トラフ地震や近年頻発する豪雨等において、協定締結自治体であっても広域被災する可能性もあることから、同一の災害リスクを回避できる自治体との広域連携を検討していく必要があります。					
【今後の施策展開】					
地区防災計画については、引き続き、計画の必要性・重要性について十分な説明を行っていくとともに、地区防災計画策定の手引書（ひな形）等を提示するなど、地域による計画策定支援を行っていきます。 また、今後も地域防災力の向上が図れるよう、地域防災リーダーとしての防災士を養成すべく、令和4年度以降も防災士育成事業を継続して行います。 この他、大規模災害による広域被災を想定した災害時応援協定の締結を進めていきます。					

主な総合戦略推進事業	(1)防災活動推進経費(セーフティコナ) (執行額:16,481千円)		
	【KPI(重要業績評価指標)】	R3実績	R4目標
	【事業概要・効果(寄与状況)】		
	<p>令和3年度は、令和2年度に引き続き想定浸水深の「見える化」事業を進めるとともに、出前講座等において具体的な指導・啓発を行い、平時からの風水害対策と市民の防災意識の向上を図りました。</p> <p>この他、災害対策本部職員が着用するベストを整備して、災害現場、避難所等において当該職員の役割等を市民等に対し明確に示すことができるようにするとともに、防災備蓄品の整備・更新、防災行政無線と石部防災センターの維持管理を行いました。</p>		
	【事業の改善点】		
	<p>防災士養成試験合格者の認証登録において、新型コロナウイルス感染症の影響によりスケジュールに遅れが生じました。</p>		
【今後の施策展開】			
<p>防災士養成事業については、新型コロナウイルス感染症の動向を確認しつつ、引き続き事業を継続します。</p>			

政策パッケージ評価シート

【政策担当者】 市民生活局長

2. ひとへの投資プラン (4) 観光と交流による活性化 — 基本施策②

【パッケージの方向性】

湖南三山や東海道の活用、市民産業交流促進施設(物産館)の整備などによる地域間交流の活性化やアール・ブリュットの振興などにより、湖南省の認知度の向上、ブランドの確立を図り、市民の誇りと愛着の醸成により、移住・定住の増加につなげます。

基本施策

②多文化共生のまちづくり

【KPI(重要業績評価指標)】	基準値(R1)	R3実績	R4目標	R7計画目標
外国語通訳・相談の利用者数	6,652人	7,157人	8,240人	7,000人

【これまでの取組みと成果】

一元的外国人相談窓口設置事業として、相談窓口を、東庁舎総合案内、西庁舎人権擁護課、保健センター、市国際協会、市内まちづくりセンター7か所に開設し、各窓口で14の言語に対応できる自動翻訳機を設置するほか、タブレットを設置しWeb会議システムでつないでいます。このことにより、通訳職員がいない部署でもタブレットを介して通訳職員につながり通訳することができるようになりました。本事業は外国人受入環境整備交付金を活用しており、令和3年度の事業実績における利用者数は7,157人でした。

【課題】

タブレットを活用した相談受付の実績が少ない(特にまちづくりセンター)状況です。外国人市民の多国籍化が進んでいることから、自動翻訳機やタブレットの活用が進むような取組が必要です。通訳者の配置がポルトガル語に特化していますが、ベトナムやインドネシアなど東南アジアからの外国人市民が増加しており、対応を検討していく必要があります。

【今後の施策展開】

一元的外国人相談窓口がより活用されるよう周知に努めます。また、事業を継続するとともに、より望ましい事業のありかたを、ニーズの把握とあわせて、業務の効率化や市全体における通訳・翻訳者の配置や雇用形態等も含めて検討していくことも必要です。

総括【パッケージ(基本施策)】

主な総合戦略推進事業	(1) 友好交流推進経費（執行額:20,041千円）			
	【KPI(重要業績評価指標)】		R3実績	R4目標
	【事業概要・効果(寄与状況)】			
	<p>一元的外国人相談窓口設置事業の相談窓口として、東庁舎総合案内にポルトガル語と日本語が話せる通訳派遣職員を配置しています。総合窓口に通訳職員がいることで、外国人からの相談内容（来庁・電話）に応じて必要な部署へ案内し、配属されている通訳職員につないだり、通訳職員のない部署では通訳も行っています。</p>			
	【事業の改善点】			
	<p>庁内に配置されている通訳職員の内、会計年度任用職員は9時から16時の短時間勤務であることから、それ以外の時間も相談窓口として対応できるよう、市役所開庁時間におけるフルタイムで配置しています。</p>			
【今後の施策展開】				
<p>一元的外国人相談窓口事業がより活用されるよう周知に努めます。また、外国人市民の相談に適正な対応ができるよう、通訳職員および関係部署との連携に取り組みます。</p>				

政策パッケージ評価シート

【政策担当者】 健康福祉部次長

3. まちづくりプラン (7)安心して暮らせる基盤づくり — 基本施策④⑥⑦

総括（パッケージ（基本施策））

【パッケージの方向性】

多世代交流の場づくりや新しい働き方の確立等、誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会の実現を図ります。災害に強い都市基盤整備とともに地域ぐるみの防災体制の強化や見守り・目配りのしくみなど安心・安全な地域社会づくりを進めます。鉄道とバスの連携など子どもや高齢者の移動を支える交通ネットワークの充実を進めます。

基本施策

④障がい者の自立支援の充実 ⑥地域福祉の促進⑦健康づくりの促進

【 KPI(重要業績評価指標) 】	基準値(R1)	R3実績	R4目標	R7計画目標
湖南省ボランティアセンターのボランティア登録者数	730人	655人	764人	800人
健康寿命 男性	78.39歳	77.70歳	79.26歳	80.13歳
健康寿命 女性	80.91歳	79.89歳	81.25歳	81.61歳

【これまでの取組みと成果】

④第3次障がい者の支援に関する基本計画「みんなで取り組むつばさプラン」に基づき、たて・よこ・ななめにすき間なく、みんなが担う「もれない支援」による一人ひとりに応じた支援や、サービス体制の整備等に取り組みました。また、合理的配慮や共生社会という考え方も広く認知されるようになってきています。
 ⑥社会経済情勢の変化や、多様化する社会の中で、地域福祉を推進するために存在不可欠なキーパーソンである、ボランティアコーディネーターや地域支えあい推進員、民生委員・児童委員などとの連携により、地域福祉を推進する体制づくりに取り組んでいます。
 ⑦市民一人一人が自分自身の健康づくりに関心を持ち、健康への取り組みを行ってもらえるよう、健康こなん21計画（第2次）に基づき、各種事業を実施しています。昨年度からコロナ禍においても、安心して健診を受けてもらえる機会を確保するため、予約制を導入する等対策を行いました。また、感染予防の啓発や、新型コロナウイルスワクチン接種にも従事し、市民の健康づくりに取り組みました。

【課題】

④必要な人に必要な支援を届けることは重要ではありますが、増え続けるニーズに対応できる社会資源の整備や、人材育成・人材確保が課題といえます。
 ⑥地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するために、庁内の横断的な連携に努めるとともに、市と社会福祉協議会、地域やボランティア、各種団体、企業などあらゆる人・機関が協働し、地域共生社会を実現するための体制作りが必要です。
 ⑦コロナ禍以降人と接する機会の減少や、外出が制限される状況となり、ストレスを感じ、こころの健康を保つことが難しくなっています。ストレスが蓄積すると身体的にも健康への影響が出るため、長期化するコロナ禍において、こころと身体の健康を保つことができるような取り組みが必要になっています。

【今後の施策展開】

④第3次障がい者の支援に関する基本計画「みんなで取り組むつばさプラン」の基本理念である「一人ひとりが自分らしく、ともに生きるまち 湖南省市」の実現に向け、たて・よこ・ななめにすき間なく、みんなが担う「もれない支援」による一人ひとりに応じた支援や、サービス体制のさらなる強化を図るため、社会資源の発掘。整備・活用を進め、圏域での包括的な事業展開を推進します。
 ⑥第四次地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づき、支え合いの仕組みや支援が行き届く体制を整備し、誰一人取り残すことなく、安心して暮らせる地域を目指すため、社会福祉協議会と協働により地域福祉を推進していきます。
 ⑦健康こなん21計画（第2次）の基本理念「生涯を通じて人が輝ける健康なまちづくり」を目指し、市民の自主的な健康づくりへの支援を行っていくとともに、疾病の予防、早期発見・早期治療をつながるよう、健診等の予防活動を行います。また、健康こなん21計画（第3次）の策定に向け、市民の健康に関する現状や地域の課題の把握と整理を行います。

地方創生関連国庫補助金活用事業	(1)地域健康リーダー育成事業 (執行額: 100千円)		
	【KPI(重要業績評価指標)】	R3実績	R4目標
	フレイルサポーター数(養成課程を修了し、地域活動実施に関し登録している人)	24人	24人
	【事業概要・効果(寄与状況)】		
	<p>高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業に関連させ、各地域で高齢者のフレイル予防について啓発する地域のリーダーとして養成したフレイルサポーター13名と地域の支え合い推進員が交流するフレイルサポーターステップアップ講座を開催しました。講座では、参加者同士が地域活動について意見交換やつながりをもつことを目的に開催し、その結果、1中学校区では既存の高齢者向けのサロンにフレイルサポーターが参画するようになりました。また、R3年度延べ17人のフレイルサポーターが市内の通いの場14か所でフレイル予防の啓発等、活動を行うことができました。 (ステップアップ講座参加フレイルサポーター実人数13人)</p>		
【事業の改善点】			
<p>新型コロナウイルス感染症の影響で地域の通いの場での活動が制限される中、感染拡大の懸念やサポーター自身の健康状態を理由に実際に活動できるサポーターは半数程度となっています。フレイルサポーターが活動しやすい環境を整えつつ、フレイルサポーター自身がモチベーションを保ちながら、自ら活動の場・機会を持ち、地域で活動、活躍できるように後方支援をしていくことが必要と考えます。</p>			
【今後の施策展開】			
<p>令和4年度も引き続きステップアップ講座等を通して、市の地域課題や強みを考えたり、地域資源とのつながりを持てるように、地域のささえあい推進員やまちづくり協議会との協働を図っていきます。また、地域の通いの場当での活動機会を提供し、地域活動に向けた支援を行っていきます。</p>			
主な総合戦略推進事業	(1)障がい福祉事業 (執行額:1,237,082千円)		
	【KPI(重要業績評価指標)】	R3実績	R4目標
	【事業概要・効果(寄与状況)】		
	<p>障がいのある人やその家族が安心して、その人らしい人生を送れるように、個性と自己選択を尊重した支援体制と、自立した地域生活の充実に向けて連携した質の高いサービスの提供を推進しています。また、障害のあるなしにかかわらず、おたがいの人権や尊厳を尊重し合い、地域で支え合うノーマライゼーションの理念に基づいた地域共生社会づくりを進めます。</p>		
【事業の改善点】			
<p>ニーズが多様化・増大化するなか、専門機関との連携を強化し、適正なサービスの提供体制を構築する様に進めます。また、障がいや障害のある人に対する正しい理解を広める研修等を通じた学習および広報・啓発活動や交流の機会を作り出す必要があります。</p>			
【今後の施策展開】			
<p>湖南省障がい者計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画に基づく施策・事業を着実かつ効果的に実施します。</p>			

主な総合戦略推進事業	(2)新型コロナウイルスワクチン住民接種事業(執行額:371,110千円)		
	【KPI(重要業績評価指標)】	R3実績	R4目標
	新型コロナウイルスワクチン住民接種率(2回接種終了者)	89.4%(12歳以上)	80%
	【事業概要・効果(寄与状況)】		
	<p>新型コロナウイルスワクチンを接種することで、新型コロナウイルス感染症の発症を予防し、感染や重症化を予防する高い効果があります。また、多くの市民が接種することで、集団免疫を持つことができ、ワクチンを接種できない人等の予防効果も期待できます。</p> <p>令和3年度については、個別接種と集団接種を効果的に組み合わせることで、目標値80%のところ接種対象者の12歳以上で、89.4%の接種率となり、全国平均を上回り、県内でもトップクラスの接種率となりました。</p>		
【事業の改善点】			
<p>接種回数・接種対象者などの変更が相次ぐ中、長期に渡り集団接種会場として同一会場を確保しているため、市民に不都合が生じています。今後、個別接種医療機関や別の集団接種会場の検討が必要です。</p>			
【今後の施策展開】			
<p>国の接種方針に従い、国の変更にも応じながら、速やかに実施します。</p> <p>令和4年度については、令和4年1月からの12歳以上の3回目接種、6月末からの60歳以上の4回目接種の実施になりますが、4回目接種の対象となる60歳以上の接種率を、3回目・4回目ともに80%を目標とします。</p>			
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	(1)小中学生通院医療費助成拡大事業【執行額:30,308千円】		
	【KPI(重要業績評価指標)】	R3実績	R4目標
	【事業概要・効果(寄与状況)】		
	<p>アフターコロナを見据えて子育て世帯の医療費負担軽減を図るため、小中学生の通院医療費を助成しました。</p> <p>令和3年9月診療分から小中学生を対象とした通院医療費の助成を開始、子育て支援対策の一端を担うことができました。</p>		
【事業の改善点】			
<p>乳幼児福祉医療費の助成については、平成28年4月から県の制度として、就学前の子どもへの医療費完全無料化を実施されているが、小中学生の医療費助成については県内市町ごとに対応が異なり、格差が生じています。子どもたちが県内のどこに住んでいても必要な医療を平等に受けられる医療提供体制を整えることで、この格差を解消することが重要と考えます。そのため、県市長会を通じ、県や国への要望を行います。</p>			
【今後の施策展開】			
<p>引き続き小中学生を対象とした医療費助成を行うとともに、助成制度の市町間格差が解消されるよう、県や国への要望も継続して行います。</p>			

政策パッケージ評価シート

【政策担当者】 健康福祉部管理監

3. まちづくりプラン (7)安心して暮らせる基盤づくり — 基本施策③⑤

【パッケージの方向性】

多世代交流の場づくりや新しい働き方の確立等、誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会の実現を図ります。災害に強い都市基盤整備とともに地域ぐるみの防災体制の強化や見守り・目配りのしくみなど安心・安全な地域社会づくりを進めます。鉄道とバスの連携など子どもや高齢者の移動を支える交通ネットワークの充実を進めます。

基本施策

③医療の充実 ⑤高齢者の自立支援の充実

【 KPI(重要業績評価指標) 】	基準値(R1)	R3実績	R4目標	R7計画目標
認知症サポーター数	5,094人	5,287人	5,390人	5,493人

総括
（パ
ッ
ケ
ー
ジ
（
基
本
施
策
）
）

【これまでの取組みと成果】

③公立甲賀病院については平成31年4月に独立行政法人へと移行し、経営の柔軟化により医療体制の強化に向けての取組みが進んでおり、高度医療体制、圏内の診療所との連携、災害時対応等地域の中核病院としての役割を担っています。また、在宅医療の連携については、こなん在宅医療安心ネットワークの運営等で医師間の協力体制をとり、在宅医療、在宅看取りの実現に取り組んでいます。
⑤認知症サポーター養成講座については、令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響により講座実施回数は減少するなど計画通り開催することができませんでした。なお、地域や関係機関と連携した啓発活動について継続的に取り組みました。

【課題】

③医療機関での人員不足は深刻な問題となっており、公立甲賀病院、公立医療機関だけでなく、地域の開業医においても医師、看護師等の医療関係者不足と高齢化は大きな課題となっています。また、大規模災害に対応できる広域災害救急医療体制の整備を進める必要があります。
⑤認知症サポーター養成講座の継続と、養成したサポーターが実際に地域で活動してもらえるような体制づくりが必要です。引き続きサポーターの養成に向けて学童期、学生、企業などの若者への働き掛けが必要です。また、「認知症の人にやさしいお店(事業所)」や「認知症サポーターがいるお店(事業所)」を増やし、市民と事業所が一体となって安心して暮らせるまちづくりを目指すことが必要です。

【今後の施策展開】

③医療体制の強化を図るための課題となる人員人材の不足を補うため、甲賀病院や市内の医療機関相互での情報の共有や連携を進めることにより、効率的な診療体制を構築し、安心して医療が受けられる環境を整えます。また、在宅医療の推進に向けても、更に医師間、医師会との連携および介護サービスとの連携を深め、地域包括ケアの充実を図ります。
⑤認知症について正しい理解を持つ市民が増え地域の見守りにつながるようサポーター養成講座を継続していきます。また、サポーターの中から更に活動してもらえる人を把握し、例えば認知症カフェなどでスタッフとして活動してもらえるようなしくみを検討していきます。

政策パッケージ評価シート

【政策担当者】 子ども家庭局長

2. ひとへの投資プラン (5)若者への支援、希望の実現 — 基本施策①

【パッケージの方向性】

若者の社会参画を促進するとともに、結婚、出産、子育ての支援策を切れ目なく実施し、将来に希望が感じられる地域社会の実現を図ります。

基本施策

①子育て支援の充実

【 KPI(重要業績評価指標) 】	基準値(R1)	R3実績	R4目標	R7計画目標
出生数	2,048人 (5年間累計)	2,044人 (5年間累計)	2,044人 (5年間累計)	2,232人
就学前保育の待機児童数	54人	0人	0人	0人

【これまでの取組みと成果】

保育園、こども園、幼稚園による就学前保育・教育を実施するとともに認可保育園、小規模保育園を新規に開設し、増大する需要に対応するため受け入れを拡大してきました。また、それに呼応するように需要が高まっている学童保育所も、学校施設等を活用し、受け入れの拡大を行っています。その他、多様化する保育ニーズに対応するために、保護者の就労時間の都合に応じた延長保育、一時的に家庭で保育できない場合の一時預かり保育、病気で保育園等が利用できないときの病児保育などを実施しています。公立の保育園やこども園内に設置した子ども家庭総合センターの子育て支援コンシェルジュを中心に、身近な地域で子育てのあらゆる相談支援に応じ、関係機関と連携して妊娠期からの切れ目ない子育て支援体制を強化し、安心して子育てできる環境を整えています。

【課題】

近年、子どもの出生数は減少傾向となっていますが、女性の就業率の上昇や幼児保育教育の無償化などにより、共働き家庭が増加しており、保育ニーズは横ばいもしくは微増傾向になっています。こうした中、保育供給量の確保と保育士の確保は喫緊の課題となっています。また、就学後の学童保育の需要も増大しています。令和3年度に実施した子育て支援アンケートの結果からも地域とのつながりが重要と考える保護者が非常に多く、身近な地域での子どもの居場所づくりなど、地域全体で子育てを支える環境を整備していく必要があります。

【今後の施策展開】

引き続き、保育需要を見極めつつ、必要な保育供給量や保育士の人材確保を図りながら、保育サービスの質の向上に努めます。学童保育の需要が多いため、子どもの居場所づくり事業を推進していきます。また、すべての子育て家庭や子どもを対象として、地域のニーズに応じた子育て支援の充実に努めます。

総括（パッケージ（基本施策））

(1) 保育園振興対策事業 (執行額:1,197,423千円)		
【 KPI(重要業績評価指標) 】	R3実績	R4目標
【 事業概要・効果(寄与状況) 】		
<p>民間園に運営費や保育対策などに係る補助事業を実施し、また、施設の整備や改修に対する補助を行い、民間園の安定的な保育の実施に寄与します。令和3年度では、民営化した三雲くじら保育園の建替整備事業に補助を行い、老朽化していた施設の改築が行われ、耐震化が図れました。</p>		
【 事業の改善点 】		
<p>事業者への補助事業の案内を早期に行い、適切な補助事業の執行管理に努めます。</p>		
【 今後の施策展開 】		
<p>令和4年度以降についても、民営化したHOPPA湖南水戸の建替整備事業に補助を行い、老朽化施設の耐震化・改築事業を進めていきます。また、今後の保育需要に注視しながら待機児童が発生しないよう受け皿の整備や保育士の確保に努めます。</p>		
(2) 学童保育所運営事業 (執行額:237,522千円)		
【 KPI(重要業績評価指標) 】	R3実績	R4目標
学童保育所指導員研修の実施回数	7回	8回
【 事業概要・効果(寄与状況) 】		
<p>学童保育所指導員の資質向上のために市主催の研修を行い、指導員の指導力やモチベーションの向上を図り、児童の健全育成に寄与します。 研修内容はテーマごとに複数回実施し、指導員として必要な知識等を習得できる研修内容とします。 また、発達支援室と連携し、各学童保育所の巡回相談を実施することで、配慮が必要な児童に適切な対応ができるようにします。</p>		
【 事業の改善点 】		
<p>前年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、実施回数が少なくなったが、今年度はオンラインと会場の両方で開催することで、可能な限り中止がないようにします。 また、各研修については参加者に事前・事後にアンケートを行い、現場のニーズに合った研修を実施します。</p>		
【 今後の施策展開 】		
<p>指導員の資質向上を図るため、継続的に研修を行い、内容は社会情勢やニーズに合ったものを実施します。</p>		

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	(1) 保育園等感染対策事業【執行額： 1,384千円】		
	【 KPI(重要業績評価指標) 】	R3実績	R4目標
	【 事業概要・効果(寄与状況) 】		
	新型コロナウイルス感染防止対策として、現在未設置園の低年齢児クラス室内に手洗い場を設置しました。		
	【 事業の改善点 】		
未満児クラスの教室に複数の手洗い水栓を設置することで、手洗い時の密集状態を解消することができました。			
【 今後の施策展開 】			
新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら、今後も必要な施設の修繕・改修を行います。			

政策パッケージ評価シート

【政策担当者】 都市建設部次長

3. まちづくりプラン (7)安心して暮らせる基盤づくり — 基本施策①②

【パッケージの方向性】

災害に強い都市基盤整備とともに地域ぐるみの防災体制の強化や見守り・目配りのしくみなど安心・安全な地域社会づくりを進めます。鉄道とバスの連携など子どもや高齢者の移動を支える交通ネットワークの充実を進めます。

基本施策

①市街地・住環境の整備 ②公共交通の充実

【 KPI(重要業績評価指標) 】	基準値(R1)	R3実績	R4目標	R7計画目標
コミュニティバス乗客数	313,239人	265,360人	314,370人	315,500人

【これまでの取組みと成果】

公共交通の充実の促進については、駅を中心に周辺地域を都市拠点としたコンパクトな市街地整備と交通ネットワークの充実による地域活力の維持を目指すとともに、低炭素社会の実現により、持続可能で誰もが暮らしやすい安全で安心なまちづくりを推進します。また、本年4月より2年間の予約制小型乗合自動車運行事業の実証実験を行い、利用状況による潜在需要の創出および費用対効果の検証を行います。

住環境改善支援として、空き家の総合的な相談窓口として平成30年6月に創設した「湖南省空き家サポートセンターあきやナクス」を、令和3年度から市住宅課に設置し、空き家所有者が抱える問題を地元事業者により解決する仕組みを構築しました。

市道3路線の歩道整備事業については、湖南省市道路整備計画に基づき、関係地権者の協力を得ながら、用地調査や補償算定業務を順次進めることが出来ました。また、湖南省舗装修繕計画を更新するとともに、道路橋の長寿命化対策として47橋梁の定期点検を実施し、健全性の診断がⅢ判定（早期に措置を行う必要がある状態）の宮ヶ谷2号橋及び五軒茶屋2号橋の修繕工事を完了しました。安全で安心して暮らせる地域社会の実現に向け、基本インフラである道路整備を着実に進めることが出来ました。

【課題】

石部駅へのアクセスにおいて、本来の道路ネットワークの効用が果たせていない状況であり、駅周辺の都市空間の価値を向上させることにより、広域・狭域の課題を総合的に解決する。

放置空き家等の発生を抑制するには、空き家の積極的な利活用、流通の促進など、空き家バンク、空き家管理サポート事業の必要性は高いため、より一層の周知を行うことが必要です。

耐用年数を迎える舗装や橋梁等の道路施設を多く抱える中で、更なるライフサイクルコストの縮減と財源の確保、そして技術系職員の育成が必要です。

【今後の施策展開】

石部駅において、誰もが利用しやすく、快適で利便性の高い駅周辺空間の形成のため、駅北側からのアクセス時間の短縮を図り、既存市街地との一体性を確保しながら、交通結節点の強化に取り組めます。

空き家対策事業については今後継続し、地域と行政が一体となり、管理不全空き家の所有者へ適切な助言、指導を行い、空き家バンクや空き家管理サポートの利用に繋がります。

交通安全プログラム推進協議会と連携し、道路整備計画や舗装修繕計画等を基に、国庫補助金等を最大限活用しながら、歩道の新設や道路の拡幅、舗装修繕を実施し、良好な道路・河川の機能向上に取り組めます。併せて、既存橋梁の法定点検や点検結果に基づく修繕工事を計画的に実施することで健全性を確保し、予防措置を図ります。

総括
【パッケージ（基本施策）】

主な総合戦略推進事業	(1)石部駅周辺整備事業（執行額:471,069千円）		
	【KPI(重要業績評価指標)】	R3実績	R4目標
	【事業概要・効果(寄与状況)】		
	<p>鉄道駅を中心に周辺地域を都市拠点としたコンパクトな市街地整備と交通ネットワークの充実による地域活力の維持を目指すとともに、低炭素社会の実現により、持続可能で誰もが暮らしやすい安全で安心なまちづくりを推進するため、南北自由通路整備により、回遊性の向上と北側改札の新設と供用時期を連携し、駅へのアクセス道路を整備することにより、ストック効果の最大化を図るとともに、交通結節点の機能強化を推進を図り、誰もが安心・安全・快適に利用できる拠点づくりを進めます。</p>		
	【事業の改善点】		
	<p>市北部地域から石部駅へのアクセス道路と、市外への流出経路となる県道が機能重複しており、慢性的な混雑道路となっています。また、菩提寺エリアからの駅アクセスの不良や鉄道の利便性が低いことから、隣市町の駅を利用しており、本来の道路ネットワークの効用が果たせていない状況であり、駅周辺の都市空間の価値を向上させることにより、広域・狭域の課題を総合的に解決します。</p>		
	【今後の施策展開】		
	<p>石部駅は、市の西側玄関口としての拠点として重要な施設であります。誰もが利用しやすく、快適で利便性の高い駅周辺空間の形成のため、駅北側からのアクセス時間の短縮を図り、既存市街地との一体性を確保しながら、交通結節点の強化に取り組んでいきます。</p>		
	(2)地方特定道路新設改良事業（執行額:126,198千円）		
	【KPI(重要業績評価指標)】	R3実績	R4目標
	舗装修繕工事	0件	1件
橋梁定期点検業務(直営点検を除く)	47件	17件	
【事業概要・効果(寄与状況)】			
<p>道路インフラは市民が生活する上で極めて重要な社会資本の一つであり、地域の実情に見合った整備や改良を計画的に実施し、地域の安全性や利便性の向上を図ります。</p>			
【事業の改善点】			
<p>可能な限り業務・工事の早期発注を行い、事業効果を早期に発揮できるよう努めます。併せて、1日でも早い工事着手に向け、事業スケジュールの随時見直しや整備効果を検証しながら事業展開していく必要があります。</p>			
【今後の施策展開】			
<p>社会資本整備総合交付金をはじめとする国庫補助金等を活用しながら、各事業計画に基づき、地域の実情に応じた市道の整備・改良に努めます。</p>			

主な総合戦略推進事業	(3) 空き家対策推進経費（執行額:4,616千円）			
	【KPI(重要業績評価指標)】		R3実績	R4目標
	空き家のマッチング件数		1件	5件
	空家所有者特定事業		50件	15件
	特定空家除却支援事業		2件	4件
	【事業概要・効果(寄与状況)】			
	<p>空き家の総合的な相談窓口として平成30年6月に創設した「湖南省空き家サポートセンターあきやナクス」を、令和3年度から市住宅課に設置し、空き家の流通促進、管理不全空き家に対するサポートのため「湖南省空き家バンク運営」「湖南省空き家管理サポート」を外部へ委託し、空き家所有者が抱える問題を地元事業者により解決する仕組みを構築しました。</p> <p>令和3年度の実績としては空き家管理サポートのマッチングが1件でした。</p> <p>また、国費を活用した空き家の所有者特定や特定空家の除却支援事業についても継続して行い、令和3年度の実績は所有者特定が50件、特定空家除却支援が2件でした。</p>			
	【事業の改善点】			
	<p>空き家バンク、空き家管理サポート事業の実績が少ないため、より一層の周知を行うことが必要です。</p>			
	【今後の施策展開】			
<p>事業については今後継続し、管理不全空き家の所有者へ適切な助言、指導を行い、空家バンクや空き家管理サポートの利用に繋がります。</p>				

政策パッケージ評価シート

【政策担当者】 環境経済部次長

1. 働く場の創出プラン (1)産業力の強化 — 基本施策①②③

【パッケージの方向性】

強みのある産業を中心に関連業種の集積を図ったり、立地優位性を生かして国際物流拠点を創出するとともに、農産物の6次産業化や地域に根差した商工業の振興など、産業力を強化します。

基本施策

①農林業の振興 ②工業の振興 ③商業の振興

【 KPI(重要業績評価指標) 】	基準値(R1)	R3実績	R4目標	R7計画目標
新規創業件数	11件/年	20件/年	12件/年	12件/年
担い手への農業(水田)集積率	45%	47.4%	48%	50%
製造品出荷額	5,269億円	5,230億円 (R1実績)	5,000億円	7,785億円
「ここぴあ」の年間売上高	168百万円	202百万円	210百万円	227百万円

【これまでの取組みと成果】

農業農村基盤整備事業については、老朽化する農業用水路、農業用ため池等の施設の改築更新などを適正に行い施設の長寿命化や耐震化を効果的に推進いたしました。

農業振興等拠点施設運営事業については、市内産業の融合による湖南市らしさが際立つ未来の1次産業の創造をコンセプトに、市民産業交流促進施設(愛称:ここぴあ)や魅力発信拠点施設(愛称:HAT)、チャレンジ農園といった機能を整備し、市内産農産物の販売促進や農業者意欲向上、交流人口の拡大などに大きく寄与しました。

みらい公園湖南チャレンジ農園実践事業については、付加価値の高い農業を目指すべく農業用ビニルハウスを活用し、法人化を目指している農業任意団体へ貸し付けを行い、園芸品目の栽培に関する知識や技術を習得していただいております。人材育成に貢献しました。

商業・工業の振興では、企業のニーズに応じた支援を実施するため、企業ガイド(WEB版)の作成をはじめ、企業誘致・立地支援の基盤となる計画の順次策定および独自の企業立地促進奨励制度の構築を行い、企業の設備投資に対し52件の税制支援を行ってきました。

【課題】

農業農村基盤整備事業のうち、農業用水路長寿命化事業では地元調整に不測の事態が起きましたので、次年度には事前調整を十分行うものとし、農業用ため池の耐震化については、時限的に国庫補助制度の拡充がなされていることから、効果的な財源確保に向け前倒しにて事業実施しています。

農業振興等拠点施設運営事業では、ここぴあ、HAT間の連携不足が多分に見受けられることもありましたので、今後、全体を一括した指定管理者選定など新たな公民連携の検討が必要です。

みらい公園湖南チャレンジ農園実践事業では、農業用ビニルハウスでの栽培技術の習得を行うことにより、水稻農業者の園芸栽培への横展開を支援する仕組みの創出を行います。

商工業に関して企業立地が進んだ反面、既存企業の流失等の課題があり、今後も継続して事業者ニーズを踏まえた事業環境や人材確保・育成等を推進していく必要があります。

【今後の施策展開】

みらい公園湖南を中心とした農林業・商工業の振興を図るとともに、特産品の開発や6次産業化に取り組み、園芸生産を促進していきます。また、付加価値の高い稼げる農業への転換を目指し、市内企業との連携などにより持続可能な稼げる仕組みづくりを構築していきます。

また、湖南市地域産業振興基本条例の理念と産業振興戦略ビジョンに沿った独自の支援策の構築などを通して、産業振興関連施策を総合的に推進し、産業力の強化を図ります。

さらに、湖南市地域産業振興基本条例の基本理念と産業振興戦略ビジョンに沿った独自の支援策の構築などを通して、産業振興関連施策を総合的に推進し、産業力の強化を図ります。

総括
【パッケージ(基本施策)】

(1) 農業農村基盤整備事業（執行額: 64,370千円）		
【 KPI(重要業績評価指標) 】	R3実績	R4目標
【 事業概要・効果(寄与状況) 】		
<p>老朽化する農業用水路等の農業用施設の改築更新による長寿命化や昨今の集中豪雨や大規模地震への補強策として農業用ため池の耐震化を図ります。対象となる農業用施設の規模、受益面積等の条件に応じて、県営土地改良事業および団体営土地改良事業（野洲川土地改良区実施分）に対する受益者負担金の拠出や本市が自ら行う団体営土地改良事業を効果的に実施しました。</p>		
【 事業の改善点 】		
<p>農業用水路長寿命化事業（団体営土地改良事業：市直営）については3年間事業の中間年として工事着を行いました。地元調整に不測の事態が起きましたので、次年度には事前調整を十分行うものとします。農業用ため池の耐震化については、時限的に国庫補助制度の拡充がなされていることから、効果的な財源確保に向け前倒しにて事業実施しています。引き続き本実施体系を維持していきたいと考えています。県営、団体営（野洲川土地改良区実施分）については、事業進捗が滞らないよう地元調整など精力的な仲介調整を行いました。</p>		
【 今後の施策展開 】		
<p>農業用水路長寿命化事業については次年度最終年のため、スムーズな事業執行により効果の発出時期の前倒しを図るよう努めます。また、農業用ため池の耐震化については、耐震工事を県営事業で施行していただくことから、国等との各種協議や計画策定など事前調整を滞りなく実施し、スムーズに県へ移行し、早急な工事着手をお願いしていきたいと考えています。</p>		
(2) 農業振興等拠点施設運営事業（執行額: 20,935千円）		
【 KPI(重要業績評価指標) 】	R3実績	R4目標
市民産業交流促進施設「ここぴあ」直売販売額	202,390,284円	210,000,000円
市民産業交流促進施設「ここぴあ」来客数	220,765人	230,000人
【 事業概要・効果(寄与状況) 】		
<p>市内産業の融合による湖南市らしさが際立つ未来の1次産業の創造をコンセプトに、みらい公園湖南を整備しました。このエリアには、農産物直売所や研修室、キッチンなどの貸館機能などをもつ市民産業交流促進施設（通称：ここぴあ）と地産地消型の飲食事業や観光、特産品情報などの発信、各種イベントが実施できる魅力発信拠点施設（通称：HAT）であり、園芸作物の栽培実習や収穫体験など農業人材育成のためのチャレンジ農園といった機能が集約されており、本市農業の未来を創造するセンター機能を有しています。これらの整備により、市内産農産物の販売促進や農業者意欲向上、交流人口の拡大などに大きく寄与しています。</p>		
【 事業の改善点 】		
<p>現在、ここぴあとHATについては指定管理制度により、それぞれ異なる事業者にて運営していただいている関係上、連携が不足することも多分に見受けられますので、当初の目的・目標に対する効果的な事業展開を行うために、全体を一括した指定管理者の選定など公民連携手法の検討が必要と考えています。</p>		
【 今後の施策展開 】		
<p>みらい公園湖南全体を通じては、施設のもつポテンシャルを最大限発揮し効果的な運営を行うことにより、地元農産物の生産・需要の拡大、企業や研究農場などと連携した6次産業化、農産品の新たな販路開拓、工業製品・技術等の域外波及（1次産業・2次産業・3次産業の融合と未来の創造）を創出していくための運営体制の構築を早急に行います。</p>		

主な総合戦略推進事業	(3)みらい公園湖南チャレンジ農園実践事業（執行額:180千円）		
	【 KPI(重要業績評価指標) 】	R3実績	R4目標
	農産物等直売施設「ここびあ」販売額	202,390,284円	210,000,000円
	市内生産者の花野果クラブ登録数	134人	130人
	【 事業概要・効果(寄与状況) 】		
	<p>みらい公園湖南内の農場（通称：チャレンジ農園）で、付加価値の高い農業の実践のため、底面給水育苗システムと少量土壌培地耕システムを設置した農業用ビニルハウスを活用し、法人化を目指している農業任意団体へ貸し付けを行い、県農産普及課の指導のもと、園芸品目の栽培に関する知識や技術を習得してもらいます。</p>		
【 事業の改善点 】			
<p>滋賀県も推奨し、初期投資が比較的安価で行える底面給水育苗システムと少量土壌培地耕システムを設置した農業用ビニルハウスでの栽培技術の習得を行うことにより、同システムを活用した新規就農者の育成を目的としていますが、新規就農に至ったケースはほぼないことから、新規就農に限定することなく、水稻農業者の園芸栽培への横展開による付加価値の高い農業体系の構築を支援する仕組みのを創出するなどの多角的に検討する必要があると考えています。</p>			
【 今後の施策展開 】			
<p>チャレンジ農園はもとより、みらい公園湖南に存する各施設（ここびあ、HAT）を生かし、本市に関係する農業関係機関（県、JA、民間種苗会社研究所、大学農学部など）が連携し、農家育成プログラムを再構築します。農業へ親しむ入門編、農産品を生産販売体験する実践編、新規就農や園芸栽培を目指す人づくりの担い手育成編など段階的な支援体制を構築します。</p>			

政策パッケージ評価シート

【政策担当者】 環境経済部次長

1. 働く場の創出プラン (2)多様な雇用・働き方の実現 — 基本施策①

【パッケージの方向性】

若者・女性が働きやすい職場の確保や起業支援、情報通信技術を利用した在宅ワークなど多様な働き方の実現を支援し、働きがいと所得の向上を図ります。

基本施策

①雇用の促進と勤労者福祉の充実

【 KPI(重要業績評価指標) 】	基準値(R1)	R3実績	R4目標	R7計画目標
甲賀ハローワークでの新規求人数	14,400人	10,920人	12,500人	17,200人
障がい者就労紹介就職件数	23件	26件	26件	28件

【これまでの取組みと成果】

障がい者や生活困窮者などの就職困難者の安定した雇用を創出するため、ハローワークやチャンスワークこなんなどと連携し、新卒者や若年者、UIJターン者および障がい者への合同就職面接会、また同時開催の就職セミナーにより就労支援を推進してきました。

企業・事業所に対しては、多様な働き方などをテーマとした研修会などを開催し、また女性の社会進出や就労範囲の拡大を目指した資格取得講座やスキルアップ講座などを開催し、子育て中のスキルアップや再就職・定着就労に向けた支援を行いました。

【課題】

就労支援においては、障がい者雇用の促進に関する啓発をさらに推進し、引き続き関係機関と積極的に連携し、障がい者雇用に対する理解を深め、離職者の減少を図っていく必要があります。

地元への就職を促進するために開催する就職面接会では、開催時期や周知方法が課題となり、求職者・求人者の双方にとってより有益な面接会となるよう、関係機関との十分な連携が求められます。

【今後の施策展開】

市内経済の活性化と発展のためには、活気あふれる若年層の働き手や女性・障がい者の進出が不可欠です。また、高齢者や障がい者の働く場の新たな創出や、働き方の提案を行うことは、様々な産業分野における安定経営や事業拡大を図るために必要となる労働力の確保にもつながります。今後も人材を確保するため、若年者や障がい者対象の合同就職面接会など市内での就労機会の確保に努めます。

また、女性活躍推進のため、女性の起業や女性が職業生活と家庭生活を円滑かつ継続的に両立できるよう支援に努め、また資格取得講座を開催するなど、引き続き多様な働き方が可能な雇用の場の創出を図ります。

パッケージ全体（基本施策）

主な総合戦略推進事業	(1)若年者・障がい者合同就職面接会事業（執行額:1,853千円）		
	【KPI(重要業績評価指標)】	R3実績	R4目標
	【事業概要・効果(寄与状況)】		
	<p>湖南市内での就職を希望する若年層や障がい者等を対象に、UIJターン就職についての情報交換の場を提供し、多くの若者が地元で就職することを目的として、企業と若者の出会いの場である「合同ジョブフェア」および就職活動に役立つ「就職セミナー」を、また障がい者の方を対象とした「合同就職面接会」を、公共職業安定所など関係機関と連携し、甲賀市との共催で開催しました。</p>		
【事業の改善点】			
<p>若年者やUIJターン者対象の面接会は、開催日を早めに設定したり、交通の便がよい場所で開催するなど、多くの方が参加しやすい状況で行う必要があります。また、障がい者対象の面接会についても、参加しやすい条件として利便性が不可欠です。</p> <p>また、周知についても、SNSの他、多くの方が利用する公共施設や公共交通機関でのポスター掲示など、求職者の目にとまりやすい形で行う必要があります。</p>			
【今後の施策展開】			
<p>新卒者の内定状況や社会の動向を踏まえて面接会の開催時期を検討し、また利便性のよい会場を検討するなど、大学卒業予定者の参加者数を増やしていきます。</p> <p>周知方法についてはSNSやアプリを有効活用するなど、広域にわたって周知することで来場者を増やし、市内での就職件数の増加につながる広報活動を検討します。</p>			
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	(1)新型コロナウイルス感染症対策雇用支援助成事業（執行額:2,160千円）		
	【KPI(重要業績評価指標)】	R3目標	R3実績
	【事業概要・効果(寄与状況)】		
	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けて離職または廃業した労働者への就職支援を図るため、これらの労働者を雇用した市内の事業主に対して助成金を交付しました。</p> <p>対象労働者を令和2年7月28日から同年12月31日の間に雇用し始め、6か月間雇用した事業主に36万円を助成しました。</p> <p>■交付額 2,160千円（360千円×6事業所）</p>		
【事業の改善点】			
<p>令和2～3年度のための事業です。</p>			
【今後の施策展開】			
<p>令和2～3年度のための事業です。</p>			

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

(2) 湖南省感染症拡大防止営業時間短縮等協力金 (執行額:16,846千円)

【 KPI(重要業績評価指標) 】	R3目標	R3実績

【 事業概要・効果(寄与状況) 】

滋賀県の要請により営業時間の短縮などに全面的に応じた、「営業時間短縮要請等に係る協力金(飲食店等)」の支給を受けた市内の飲食店など(中小企業、個人事業主)に対し、協力金を支給しました。

■支給額 県協力金×10%×118事業者

【 事業の改善点 】

令和3年度だけの事業です。

【 今後の施策展開 】

令和3年度だけの事業です。

(3) 湖南省事業継続支援金 (執行額:14,054千円)

【 KPI(重要業績評価指標) 】	R3目標	R3実績

【 事業概要・効果(寄与状況) 】

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い影響を受けた中小企業その他の法人等および個人事業者に対して、事業の継続を後押しし、地域経済の活性化を目的とした支援金を給付しました。

■給付額 55千円×253事業者

【 事業の改善点 】

令和3年度だけの事業です。

【 今後の施策展開 】

令和3年度だけの事業です。

政策パッケージ評価シート

【政策担当者】 環境経済部次長

2. ひとへの投資プラン (4) 観光と交流による活性化 — 基本施策①

総括【パッケージ（基本施策）】	【パッケージの方向性】					
	<p>湖南三山や東海道の活用、市民産業交流促進施設（物産館）の整備などによる地域間交流の活性化やアール・ブリュットの振興などにより、湖南省の認知度の向上、ブランドの確立を図り、市民の誇りと愛着の醸成により、移住・定住の増加につなげます。</p>					
	基本施策					
	①観光の振興					
	【KPI(重要業績評価指標)】		基準値(R1)	R3実績	R4目標	R7計画目標
	観光入込客数		631,800人	514,266人	570,000人	835,800人
	【これまでの取組みと成果】					
	<p>湖南三山めぐりについては実施されましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により三大つりは中止となり、十二坊トレイルラン&ウォークは延期になりました。 観光情報については、SNSやホームページ等を活用して発信をしました。</p>					
	【課題】					
<p>本市には、緑に囲まれた豊かな自然、美しい景観、芸術(アールブリュット)、国宝に指定された建造物を有する湖南三山、十二坊温泉ゆららなどたくさんの観光資源がありますが、ネットワーク化した広範囲でタイムリーな情報が発信できていないことや市内での観光消費（飲食・特産品の消費）が少ないという課題があります。 また、新型コロナウイルスの収束が見通せない中、新しい時代にあった観光振興で観光交流人口の拡大を図っていく必要があります。</p>						
【今後の施策展開】						
<p>本市には、緑に囲まれた豊かな自然、美しい景観、芸術(アールブリュット)、国宝に指定された建造物を有する湖南三山、十二坊温泉ゆららなどたくさんの観光資源がありますが、ネットワーク化した広範囲でタイムリーな情報が発信できていないことや市内での観光消費（飲食・特産品の消費）が少ないという課題があります。 また、新型コロナウイルスの収束が見通せない中、新しい時代にあった観光振興で観光交流人口の拡大を図っていく必要があります。</p>						

地方創生 関連国庫補助金 活用事業	(1) 十二坊トレイルラン&ウォーク運営補助金事業 (執行額:2,000千円)		
	【 KPI(重要業績評価指標) 】	R3実績	R4目標
		—	—
	【 事業概要・効果(寄与状況) 】		
	健康をテーマとした事業としてリニューアルした「第2回湖南省十二坊トレイルラン&ウォーク」の開催準備に関する経費について補助を行います。		
	【 事業の改善点 】		
	新型コロナウイルス感染症の影響により令和4年度に開催を延期しました。		
	【 今後の施策展開 】		
	補助金事業としては令和3年度で終了することになりますが、今後も事業が継続できるように実行委員と連携して運営の支援をします。		
	(2) ウツクシマツを活用したグリーンツーリズム事業 (執行額:2,000千円)		
【 KPI(重要業績評価指標) 】	R3実績	R4目標	
【 事業概要・効果(寄与状況) 】			
平松のウツクシマツ自生地保全活用協議会開催、グリーンツーリズム展開のための地域関係者と一体となった自生地の維持回復に向けた植樹保全活動を行うため、専門知識を有した滋賀県樹木医会へ委託し、保存活用計画に準じて生育実験を行いました。			
【 事業の改善点 】			
滋賀県樹木医会への委託による実施は専門機関の投与という観点から有効であったが、広く市民や関心のある交流人口などの増幅を図るためには、ウツクシマツサポーター制度の創設などを行い、より多くの市民、関係者の関りしるを見いだす必要があります。			
【 今後の施策展開 】			
地域におけるサポート体制の構築や、市内外からのサポーター受け入れ制度の創設など保全体制を確立したうえで、市観光協会などと連携しグリーンツーリズム誘客に向けた駐車場や遊歩道などの各種ハード整備や観光ボランティアのソフト整備などを推し進めます。			
主な総合戦略推進事業	(1) 三大まつり事業 (執行額:2,122千円)		
	【 KPI(重要業績評価指標) 】	R3実績	R4目標
		—	—
	【 事業概要・効果(寄与状況) 】		
	市民参画型のステージイベント等を盛り込んだ「さくらまつり」「夏まつり」「東海道石部まつり」を開催することにより、市内だけではなく市外からもたくさんの来場があり、来場者数の増加と市内商工業の活性化に寄与しています。		
	【 事業の改善点 】		
新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度は三大まつりの実施を中止しました。			
【 今後の施策展開 】			
新型コロナウイルス感染症に対応しながら、湖南省の地域資源や特色を活かし、市内外からの来場者数の増加と市内商工業の活性化に寄与するため、今後も引き続き、三大まつり実行委員会との連携を行います。			

主な総合戦略推進事業	(2)観光協会補助金事業 (執行額:20,979千円)		
	【 KPI(重要業績評価指標) 】	R3実績	R4目標
	【 事業概要・効果(寄与状況) 】		
	三大まつりや十二坊トレイルラン&ウォーク事業等の運営、市内の歴史文化や自然を活かした事業の展開を図ることで湖南省の活性化や魅力の向上に寄与しました。		
	【 事業の改善点 】		
	三大まつりや十二坊トレイルラン&ウォーク事業等の運営、市内の歴史文化や自然を活かした事業の展開を図ることで湖南省の活性化や魅力の向上に寄与します。		
	【 今後の施策展開 】		
	補助金が効果的に活用され、自然と歴史や文化に恵まれた湖南省が観光地として活性化するように観光協会と連携していきます。		
	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	(3)十二坊温泉ゆらら運営管理事業 (執行額:96,378千円)	
【 KPI(重要業績評価指標) 】		R3実績	R4目標
湖南省観光入込客数		514,266人	570,000人
十二坊温泉ゆらら利用客		117,020人	122,000人
十二坊温泉ゆらら売上総額		58,158,332円	61,000,000円
【 事業概要・効果(寄与状況) 】			
「十二坊温泉ゆらら」は、年間15万人以上が利用する施設であり、温泉施設の他、プール、オートキャンプ場、体験工房での作陶など地域間交流や観光・情報発信拠点となる施設です。新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数は減少していますが、昨年度よりは回復しました。			
【 事業の改善点 】			
新型コロナウイルス対策として感染防止対策に取り組みながら、入場制限を行うなど安心安全に利用してもらえるよう取り組みました また、施設の快適性の向上を図るため、老朽化が進んでいた修験の湯の空調機の修繕およびボイラー設置取替工事を実施しました。			
【 今後の施策展開 】			
感染症対策を実施しながら休止していたプールの利用の再開を検討します。			
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	(1)観光施設等感染症対策事業 【執行額:3,971千円】		
	【 KPI(重要業績評価指標) 】	R3実績	R4目標
	【 事業概要・効果(寄与状況) 】		
	市民の健康増進施設である十二坊温泉ゆららにおいて、換気を目的とした空調機および閉鎖時の動作不具合のある排煙窓の修繕を行い、感染拡大防止を図りました。		
	【 事業の改善点 】		
年度内に完了できるよう計画の調整をします。			
【 今後の施策展開 】			
換気を目的とした空調機および閉鎖時の動作不具合のある排煙窓の修繕を実施します。			

政策パッケージ評価シート

【政策担当者】環境経済部次長

3. まちづくりプラン (6)持続可能なまちづくり — 基本施策③

総括（パッケージ（基本施策））	【パッケージの方向性】				
	エネルギーや資源の域内循環システムを確立し、新たな価値を創出しながら経済の規模を拡大します。市民との協働のまちづくりをより一層進めるとともに、エネルギー資金流出の最小化による地域経済循環、SDGsへの貢献、脱炭素社会の実現を図ります。				
	基本施策				
	③エネルギー・経済の循環による活性化推進				
	【KPI(重要業績評価指標)】	基準値(R1)	R3実績	R4目標	R7計画目標
	地域自然エネルギー関連取組の関係人口	1,390人	1,965人	2,250人	3,000人
	【これまでの取組と効果】				
	<p>第二次湖南省地域自然エネルギー地域活性化戦略プランに基づき、エネルギーと経済の循環による地域活性化を進めるため、市民連続講座の開催や、官民連携による自然エネルギー導入プロジェクト等に取り組んでいます。</p> <p>令和3年度は、シュタットベルケ構想検討事業において、現在の指定管理による施設管理と公共施設の包括的な委託管理について比較検討したほか、交通事業や水道事業が今後も継続して健全な運営を続けていくための課題を明らかにしました。SDGs×地域資源等教育推進事業では、高校生による探求学習の準備としてシンポジウムを開催し、自分達のまち（湖南省）の取組からSDGsへの理解を深め、今後の進路や職業選択といった将来のキャリアを考える機会とすることができました。林福連携事業では、ワークショップやチェーンソー講習会の開催を通じて、障がい者との連携を強化するとともに、あらたな人材の参画のきっかけを作ることが出来ました。農福連携事業では、サツマイモ栽培を通じた製品の六次産業化を進めるとともに、ソーラーシェアリングを活用した、新たな福祉との連携方策を検討しました。</p> <p>関係人口の増加には、特に学校を通じた取り組みの効果が大きく、指標となる地域自然エネルギー関連取組の関係人口は1,965人となりました。</p>				
	【課題】				
学校等と連携した市民講座の開催を通じて、関係人口の増加をさらに進めるとともに、こなんウルトラパワーを核とした官民連携による自然エネルギー導入を拡大し、エネルギーと経済の循環による地域活性化を実現することが必用です。					
【今後の施策展開】					
SDGs未来都市推進事業を通じて、地域循環共生圏の実現に向けた検討を深化させます。また、これまでの取組の成果を武器として脱炭素先行地域募集に提案し、官民連携による自然エネルギー導入を加速化させることを目指します。					

(1)シュタットベルケ構想検討事業（執行額:1,499千円）		
【 KPI(重要業績評価指標) 】	R3実績	R4目標
【 事業概要・効果(寄与状況) 】		
<p>こなんウルトラパワーを核とした官民連携により、効率的・戦略的な公共施設の維持管理、設備更新を図っていくことで、公共サービスの維持かつ機能向上、地域住民の利便性向上を実現しながらコストの縮減と脱炭素化を両立、指定管理者等と連携した公共施設運営、水道事業やバス事業等の効率的な経営の検討を図ります。</p> <p>指定管理者へのヒアリングからは、専門的な知識を必要とする施設の維持管理業務を担える業者が市内に限られている実態が明らかとなりました。交通事業者へのヒアリングからは、車両購入費や運航補助によりコミュニティバスが運行されており、収益率は約3割程度である実態があらためて明らかとなりました。水道事業者へのヒアリングからは、今後も継続して健全な運営を続けるためには将来的な経営環境の悪化に早期に備える必要性が明らかとなりました。</p>		
【 事業の改善点 】		
<p>特に指定管理業務については、施設管理の専門業者が限られている現状を踏まえ、市内の公共施設の維持管理業務を包括的に委託（包括施設管理業務委託）することなどの検討が必要と考えられます。</p>		
【 今後の施策展開 】		
<p>湖南省では指定管理者制度を活用して施設管理をしている現状を踏まえ、湖南省における今後の公共施設マネジメントの体制を検討するとともに、エネルギー利用・低炭素化の側面から、こなんウルトラパワーが担う役割を明確化していくことが必要です。</p>		
(2)SDGs×地域資源等教育推進事業（執行額:2,272千円）		
【 KPI(重要業績評価指標) 】	R3実績	R4目標
【 事業概要・効果(寄与状況) 】		
<p>学校教育や生涯学習など様々な場において周知を図ることとし、市内中学校・高等学校でのSDGs体験教育を市内企業との連携により行います。</p> <p>同志社大学、甲西高等学校と連携しながらシンポジウムを開催し、SDGsについての理解を深めることができました。</p>		
【 事業の改善点 】		
<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、市内中学校・高等学校に対しての探求学習講座や教職員向けの研修が中止となりました。</p> <p>コロナ禍でも本事業が実施できるように準備しておくことが必要だと考えられます。</p>		
【 今後の施策展開 】		
<p>昨年度実施できなかった探求学習講座や教職員向け研修を実施し、SDGsの考え方を学ぶ機会を提供していきます。</p> <p>また、コロナ禍でもSDGsについて学びの機会を提供できるよう、オンラインでの対応等も検討します。</p>		

(3) 林福連携事業検討 (執行額:594千円)		
【 KPI(重要業績評価指標) 】	R3実績	R4目標
【 事業概要・効果(寄与状況) 】		
<p>こにゃん木の駅プロジェクトと障がい者の連携によるバイオマス燃料安定供給をめざすためのコーディネーターを育成します。</p> <p>プロジェクト会議や事業者ヒアリングを通じて、福祉団体と連携した作業フローや事業採算性の検討を行いました。また、ワークショップ等の開催を通じて、大学生などの新たな人材の参画のきっかけづくりができました。</p>		
【 事業の改善点 】		
<p>新型コロナウイルスの影響などにより、活動が停滞せざるを得ない時期がありましたが、活動を絶えさせることなく、持続させることが最優先です。</p> <p>また、つながりのできたあらたな人材を活動に巻き込んでいくプログラムなど、継続的な仕組みづくりが必要です。</p>		
【 今後の施策展開 】		
<p>ワークショップやチェーンソー講習会などを継続して開催することで、関係者の連携を強化し、プロジェクトメンバーのコーディネーターとしての経験を深めます。また、薪以外の森林資源の活用方法の検討などを通じて、多様な人材の参画を図ります。</p>		
(4) 農福連携事業検討 (執行額:599千円)		
【 KPI(重要業績評価指標) 】	R3実績	R4目標
【 事業概要・効果(寄与状況) 】		
<p>サツマイモ栽培等にかかる農福連携の取組、イモ製品等の六次産業化を検討します。</p> <p>農福連携を行うのに適したソーラーシェアリングで栽培する品目について検討を行いました。</p> <p>また、現在農福連携事業の主となっているサツマイモの使い方、また、加工品「イモップ」についてのアンケート調査、ワークショップを実施しました。</p>		
【 事業の改善点 】		
<p>ヒアリングやワークショップといった調査対象の数が少なかったため、より多くの意見を聴取する必要があると考えられます。</p> <p>また、気候条件を含む市の状況に適した農作物を検討する必要があると考えられます。</p>		
【 今後の施策展開 】		
<p>ソーラーシェアリング・加工品製造について、ヒアリングだけでなく、実証等を積極的に行いながら、六次産業化の実現を図ります。</p> <p>また、障がい者の安定した収入確保につながられるような農業にあり方についての検討を行います。</p>		

主な総合戦略推進事業	(1)地域循環事業 (執行額:4千円)		
	【KPI(重要業績評価指標)】	R3実績	R4目標
	【事業概要・効果(寄与状況)】		
	<p>湖南省地域自然エネルギー基本条例に基づいた取り組みを推進するために策定された、地域自然エネルギー地域活性化戦略プランを着実に推進するため、脱炭素先行地域募集への提案を行います。</p>		
	【事業の改善点】		
<p>第1回募集については、残念ながら選定から選定から外れてしまいましたが、関係団体との連携をさらに強化し、脱炭素ドミノの起点となりえるモデルとしてブラッシュアップを行い、第2回以降の選定を目指します。</p>			
【今後の施策展開】			
<p>脱炭素先行地域に選定された場合は、5年間で集中的な自然エネルギー導入を進め、令和12(2030)年度までに、平成25(2013)年度比で、公共施設の温室効果ガス(CO2)排出量の50%削減を目指します。</p>			

政策パッケージ評価シート

【政策担当者】 教育部次長

2. ひとへの投資プラン (5)若者への支援、希望の実現 — 基本施策②

【パッケージの方向性】

若者の社会参画を促進するとともに、結婚、出産、子育ての支援策を切れ目なく実施し、将来に希望が感じられる地域社会の実現を図ります。

基本施策

②就学前教育・学校教育の充実

【 KPI(重要業績評価指標) 】	基準値(R1)	R3実績	R4目標	R7計画目標
学校運営協議会設置校数	10校	13校	13校	13校

【これまでの取組みと成果】

「楽しくて力がつく湖南省教育」を標榜し、「子どもの育つ力を信じ、夢と志を育て、『生きる力の根っこ』を太くする」をスローガンに掲げ、「学力向上 プロジェクトによる学力保障」、「こころの教育の推進による仲間づくり」、「地域との協働によるふるさと意識の醸成」を取組の三本柱として、子どもたちの自尊感情を育む教育を推進してきました。

KPIの評価指標については、令和3年度に甲西中学校区の3小中学校が中学校区としての学校運営協議会を発足し、市内全ての小中学校がコミュニティー・スクールとなりました。これにより、児童生徒の地域活動の参画がより一層進み、将来は、地域の活性化を担う人材の育成につながることを考えます。

教育環境の充実については、菩提寺小学校、三雲東小学校、日枝中学校の3校のトイレの洋式化工事を実施しました。今後も順次進めていきます。

就学前教育は、様々な学びの芽を育む「芽生えの教育」「学びに向かう力を育てる教育」と捉え、生活や学習の基盤の育成につながるよう努めます。令和3年度には、平松こども園・三雲小学校で、幼少連携の研究に取り組み、小学校教育への接続期カリキュラムの作成にとりかかりました。

【課題】

1人1台端末が配置され、ICT教育により教育の可能性が拡大しました。今後は、授業内での効果的な活用が進むよう、教員のスキルアップのための研修をすすめていく必要があります。

トイレの洋式化工事、校舎等の老朽化に対処する大規模改修を順次行っていく必要があります。

民間による就学前の保育・教育機関が増えたことから、市立と私立の保育園・こども園・幼稚園長会や学校教育課の園訪問等において就学についての周知を図るとともに、就学前での学びを生かせるよう就学前教育と小学校教育の接続のために、健康福祉部とのさらなる連携が必要です。

【今後の施策展開】

「楽しくて力がつく湖南省教育」を展開するにあたり、令和4年度は、「学力向上委員会」を「子どもの学びづくり委員会」と改め、「学び」のあり方を中学校区で協議し、共通実践していきます。取組の三本柱を「子どもの学びづくりプロジェクトによる学びの保障」、「学び合う集団づくりの推進による仲間づくり」、「地域との協働によるふるさと意識の醸成」と改め、「子どもの学びづくりプロジェクト」のプログラムとしては、授業の湖南省スタイルを軸とし、①ICTの活用、②読書活動の推進、③家庭学習の充実、④立腰等健康教育の取組を重点として行っていきます。

令和4年度は「ICT授業推進ワーキンググループ」を設置し、「授業の湖南省スタイル」を基に、「ICTならではの」という効果的な活用をするため教員の活用力向上のための体制を整えます。

就学前教育での学びが、小学校でも生かせるよう、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を園と学校で共有し、幼児期の遊びを通した学びが、各教科の学習につながるよう、就学前教育と小学校教育の接続を図ります。平松こども園と三雲小学校での研究を市内校園に広めます。

総括【パッケージ（基本施策）】

主な総合戦略推進事業	(1)日本語初期指導教室運営事業（執行額:9,263千円）		
	【KPI(重要業績評価指標)】	R3実績	R4目標
	【事業概要・効果(寄与状況)】		
	<p>日本語初期指導教室「さくら教室」は、湖南省の特徴的な取組です。日本語の初期指導や、学校・社会生活への指導を一定期間集中的に行うことで、在籍校での生活へスムーズに移行することを目指します。</p> <p>外国籍児童生徒の就学と学習効果の向上が期待できる。保護者の子どもの教育への関心が高まり、多文化共生の進展に寄与するものです。</p>		
	【事業の改善点】		
	<p>各学校の外国にルーツのある児童・生徒の国籍は、南米系が多くを占めてはいますが、東南アジアを中心に多国籍化してきており、限られた支援員の体制で、いかに効率よく支援の効果を上げるかが課題です。</p> <p>令和元年度に「湖南省日本語初期指導教室設置要綱」を改正し、定員を20人から30人に増員し、本事業を推進していますが、コロナ禍にあつて国外からの新規入国者が減少しており、指導にあたっては、比較的充実した環境体制となっています。今後は、新型コロナウイルス感染症拡大が落ち着き、海外からの入国制限が緩和されることが予想され、それに伴い、「さくら教室」の利用児童が増加することが予想されます。</p>		
	【今後の施策展開】		
	<p>アフターコロナにおいて、国内外からの転入者が再び増加した場合においては、新たに指導者不足や児童のさらなる多言語化という課題に対して、ICTの活用や企業等の協力を得ながら、その解決を図ります。</p>		
	(2)給食センター施設管理事業（執行額:45,951千円）		
【KPI(重要業績評価指標)】	R3実績	R4目標	
【事業概要・効果(寄与状況)】			
<p>学校給食センターの電気・機械等の設備について、保守点検や修繕を実施して維持・管理を行い、施設の安定的な稼働に努めています。</p> <p>主な事業としては給食センターの調理場内に設置されている蒸気設備配管の蒸気漏れが多く発生し、給食の提供にも支障が出ていることから、蒸気配管を還り管をステンレス管に統一するなど配管の取替工事を行ったものです。</p> <p>蒸気設備配管工事 31,130千円</p>			
【事業の改善点】			
<p>頻繁に発生していた配管の蒸気漏れを解消するため、大規模な配管の取替や一部にステンレス管の使用などにより、給食の提供ができなくなるような故障を防ぎます。</p> <p>また、突発的な事故を減少させることで、定期的な保守点検やメンテナンスが行いやすくなることにより、故障を未然に防ぎます。</p>			
【今後の施策展開】			
<p>定期的な保守点検やメンテナンスの徹底を図り、故障や事故を未然に防ぎ、または最小限にとどめ、安定した給食の提供に努めます。</p>			

(1)ICT支援員配置事業 (執行額:8,065千円)																				
【 KPI(重要業績評価指標) 】	R3実績	R4目標																		
【 事業概要・効果(寄与状況) 】																				
<p>学習指導要領では、情報活用能力が「学習の基盤となる資質・能力」とされています。その育成のために、様々なICT機器が必要となり、それらを活用した授業の準備や機材の保守など、学校や教師に大きな負荷が発生しています。一方で、現在の学校教育の現場では、教師の負荷が社会的な問題にもなっており、「教員の働き方改革」の必要性が注目を集めています。このような課題の解決方策として、大きな可能性を持っているのがICT支援員の活用です。</p> <p>昨年度、端末の導入段階では、校内研修において、機器やアプリの操作説明の研修が主でした。現在は活用が進んでおり、教師のスキルに応じた利活用研修が増加しています。</p> <p>授業支援に関する業務では、ICT機器の操作支援や障害トラブル対応が多くありました。操作支援の対象は、教師及び児童生徒の両方です。教師や児童生徒が操作方法を理解できるようになると、教師から「効果的な教材はどのようなものか」「授業の中で効果的にICTを取り入れるにどうしたら良いか」「他校や他の自治体ではどのようにICT機器を利用しているか」などのICT機器等の利活用方法に関する相談が多くなり、提案型の「授業計画の作成支援」業務が増えています。</p> <p>また、年次更新などの支援業務は学校や教師の繁忙期に行うことになり、その支援は働き方改革に大きく寄与しました。</p>																				
【 事業の改善点 】																				
<p>令和4年5月に実施したICT利活用アンケートにおいて、「機器やアプリの操作方法がわからない」や「ICT機器の操作支援や障害トラブルが不安」であるといった教師がいることが分かっています。また「各教科での効果的な活用方法が知りたい」などのICT機器等の利活用方法に関するニーズがあることも分かりました。</p> <p>学校教育の現場がICT支援員を積極的に活用して、それらの不安やニーズに対応し、教師のICT活用指導力の向上及び児童生徒の資質・能力の育成に寄与することが期待されます。また、教師が子どもと向き合う時間を確保することについてもより効果を発揮することが求められます。</p>																				
【 今後の施策展開 】																				
<p>教育委員会がICT支援員の業務を明確化し、学校教育現場に対してICT支援員の活用方法など情報発信を行う。学校教育の現場においては、学校管理職やICT活用推進委員が教師とICT支援員をつなぐコーディネーターとなり、教師がICT支援員と連携して、より積極的に効果的にICT支援員を活用します。</p>																				
(2)修学旅行輸送能力強化事業 (執行額:730千円)																				
【 KPI(重要業績評価指標) 】	R3実績	R4目標																		
【 事業概要・効果(寄与状況) 】																				
<p>校外学習等で利用する貸し切りバス内の密集を軽減するため増車を行いました。これにより新型コロナウイルス感染症リスクを軽減し、校外学習等を行うことができました。</p> <p>①校外学習</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">三雲小学校 1 年生</td> <td style="width: 33%;">81,400円</td> <td style="width: 33%;">水戸小学校 3 年生</td> <td style="width: 33%;">54,670円、56,650円</td> </tr> <tr> <td>三雲小学校 2 年生</td> <td>60,500円</td> <td>水戸小学校 4 年生</td> <td>56,650円</td> </tr> <tr> <td>三雲東小学校 4 年生</td> <td>69,300円</td> <td>三雲小学校 4 年生</td> <td>77,000円</td> </tr> <tr> <td>三雲小学校 3 年生</td> <td>68,200円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>②修学旅行</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">三雲小学校</td> <td style="width: 50%;">205,700円</td> </tr> </table>			三雲小学校 1 年生	81,400円	水戸小学校 3 年生	54,670円、56,650円	三雲小学校 2 年生	60,500円	水戸小学校 4 年生	56,650円	三雲東小学校 4 年生	69,300円	三雲小学校 4 年生	77,000円	三雲小学校 3 年生	68,200円			三雲小学校	205,700円
三雲小学校 1 年生	81,400円	水戸小学校 3 年生	54,670円、56,650円																	
三雲小学校 2 年生	60,500円	水戸小学校 4 年生	56,650円																	
三雲東小学校 4 年生	69,300円	三雲小学校 4 年生	77,000円																	
三雲小学校 3 年生	68,200円																			
三雲小学校	205,700円																			
【 事業の改善点 】																				
特になし																				
【 今後の施策展開 】																				
今後の実施予定なし																				